

入寮生を確保するため奔走する古賀栄一さん



### 唐津ゆかりの学生寮を運営する「久敬社」理事長

## 古賀 栄一さん(71)

—唐津市

# 寮生増やす 使命を胸に

今年6月、首都圏で学ぶ学生向けの寮「久敬社塾」(川崎市)を運営する公益財団法人「久敬社」の理事長に就任した。

久敬社は1878(明治11)年、旧唐津藩主小笠原家の私邸の一室に開設。数年後、上京する学生の宿舎となり、唐津出身の苦学生を140年以上も支えてきた。自身も寮卒業生。「4年間お世話になった。恩返ししたい」と意気込む。

入寮は1968年。きっかけは早稲田大進学を目指し、「受験宿泊」をしたことだった。前夜、緊張で一睡もできなかった。寮にあった本が目についた。ネパールの8千級級の山アンナプルナに初登頂したフランス人登山家書いた「処女峰アンナプルナ」だった。

「頂上への努力、絶対への努力のうちに、人はおのれに打ち勝ち」。序文を読むと平常心を取り戻し、「落ちる気がしなくなつた」。結果は合格。「入れてください」と塾監に頼み込んだ。

大学時代は剣道部に所属し、寮と大学を往復した。唐津出身の寮生と唐津くんちの曳山を手作りし、近くの商店街で子どもと曳いたこともある。毎年10月は同郷人が集まる「東京からつくくんち」も開いた。「みんなで酒も飲んだし、勉強もさせてもらった」。青春時代の懐かしい思い出だ。

卒業後、唐津に戻り、家業の家具店を継いだ。理事長を引き受けたのは、寮生確保に悩んでいることを知ったからだ。当時50人近くいた寮生は現在約10人。唐津出身者以外に門戸を広げているが、少子化や学生の地元志向にコロナ

禍も加わり、寮生確保は簡単ではない。「入寮者を増やすことが私の使命」と自任する。寮生は男子大学生に限定していたが、来年度から女子や専門学校生も受け入れることを決断。女性専用の浴室を新設するなど受け入れ態勢を整えつつ、1万枚のチラシを製作し、県内の高校に配り歩いている。「全国から人が集まる東京に進学すれば、多くの出会いがある。経済的理由で東京行きをあきらめかけている人にも寮費が割安な久敬社の存在を知ってほしい。熱い思いを胸に、勧誘の日々が続く。」

◆ 来年度は男子10人程度、女子若干名を募集。寮費は月2万5千円(税込)。賄いは朝食240円(同)、夕食480円(同)。推薦入試合格者などを対象にした第1回締め切りが12月10日、第2回締め切りは来年2月20日。久敬社塾のホームページから申し込み。同塾1044(966)1093。

(野村創)

**佐賀**  
SAGA

配達の問い合わせ  
購読の申し込みは

**0120-44-0120**  
(午前6時—午後8時)

ニュース・話題は  
佐賀総局  
☎代表0952(26)718

映画の名曲など演奏  
30日に佐賀市の浪漫座  
佐賀市柳町の浪漫座で30日午後7時から「ロマンティックコンサート」(音楽)

ク主催)が開かれる。佐賀出身の杉野明子さん(フルート)や深川りえさん(サクソ)も出演する。当日は「ひまわり」「ライムラ」は「ひまわり」「ライムラ」など映画音楽の名曲

の浦崎健治さんは「新型コロナで疲れた心を音楽で癒やしてほしい」と話す。チケットは大人2千円、高校生以下1500円(1ドリンク付き)。リーブルトを5組このコ

緒方 13年  
父・母・長女

7歳  
育つて良くな

